会　議　録

1　会議名

令和８年度第８回吉川区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

報告事項（公開）

・公の施設の適正配置後期計画の取組案（資料№.１）

・源地域生涯学習センターの一部廃止について（資料№.２）

協議事項（公開）

・「吉川コミュニティプラザの利用時間及び休館日の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.３）

・「源地域生涯学習センターの利用時間及び休館日の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.４）

・「上越市立吉川地区公民館の利用時間の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.５）

・「上越市立吉川地区公民館川谷分館の利用時間の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.６）

・「上越市立吉川地区公民館旭分館の利用時間の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.７）

・「吉川旭地区農業拠点センターの利用時間の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.８）

・「吉川多目的集会場の利用時間の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.９）

・「上越市吉川体育館の利用時間の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.10）

・「上越市吉川野球場の利用時間及び休館日の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.11）

・「上越市吉川テニスコートの利用時間及び休館日の変更について」の諮問に対する答申について（資料№.12）

自主的な審議（公開）

・自主的審議事項について

・視察研修について（資料№13）

・保護者アンケートについて（資料№14）

3 開催日時

令和 8 年 10 月 15 日（木）午後 6 時 30 分から午後 9 時 10 分まで

4 開催場所

吉川多目的集会場 2 階 大会議室

5 傍聴人の数

1 人

6 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

委　員：山岸会長、薄波副会長、上野委員、太田委員、斉藤委員、関澤委員、田中委員、田邉委員、新部委員、橋爪委員

事務局：吉川区総合事務所　岩野所長、山本次長、丸山教育・文化グループ長、宮下市民生活・福祉グループ長、吉村地域振興班長、道場副主幹、五十嵐教育・文化班長

竹下資産活用課長、石田スポーツ推進課長、小関観光施設課副課長、山岸柿崎区総合事務所・産業観光班長

7 発言の内容（要旨）

【議題：公の施設の適正配置後期計画の取組案（報告）】

■ 説明

・ 事務局から、公の施設の適正配置後期計画（令和 9 年度～令和 12 年度）の検討状況について説明があった。

・ 人口減少や社会経済情勢の変化、物価高騰等を踏まえ、利用者数や利用者一人当たりの税負担などの指標により対象施設を抽出し、所管課や関係者との協議を経て計画案を作成していることが報告された。

・ 吉川区の対象施設として、吉川スカイトピア遊ランド、吉川野球場、吉川テニスコートの 3 施設が示された。

・ 吉川野球場及び吉川テニスコートについては、利用者数の減少や近隣施設の存在などを踏まえ、令和 12 年度を目途に廃止を予定し、令和 11 年度に最終判断を行う方針が説明された。
・ 吉川スカイトピア遊ランドについては、利用状況の変化、施設の老朽化、担い手不足、維持管理費の増加などの課題を踏まえ、継続協議とし、今後地域関係者と施設の方向性を検討することが説明された。
・ 生涯学習センター、公民館、保健センター及びゆったりの郷については、現状維持としていることが報告された。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：スポーツ施設において利用者が減少している状況は理解できるが、子どもたちが将来スポーツに取り組む可能性を考えると、野球場やテニスコートを廃止することには抵抗がある。利用者が存在する施設に対し「廃止」と明記するのではなく、「継続協議」とすべきではないか。
　→ 回答：本計画を策定した当時から 6 年が経過し、利用者数は更に減少している状況であり、「廃止」の方向性に変わりはなく、後期計画の見直しに当たっては、曖昧な表現は避けたいと考えたところである。
・ 質問／意見：人口減少に伴い利用者数が減るのはやむを得ないが、廃止ありきではなく、民間活用や他地域からの利用促進など施設を活用する方策も検討すべきである。
　→ 回答：施設の在り方については廃止だけでなく、地域や利用者との協議を通じて検討していく必要があると認識している。
・ 質問／意見：人口の多い地域へ施設を集約するのではなく、人口の少ない地域へ人を呼び込む施策も必要であり、その観点から施設の存続を検討してほしい。
　→ 回答：地域からの意見として受け止め、今後の検討の参考とする。
・ 質問／意見：野球場やテニスコートを廃止した場合、その後の土地利用

や施設の取り扱いはどのように考えているのか。安全管理や転用方針を示してほしい。

→ 回答：公共施設の適正配置は国の総合管理計画との関係があり、廃止計画を位置付けることで国の支援制度を活用できる面がある。一方で土地や施設の活用方法については、個別施設ごとに検討する必要があり、現時点で具体的な撤去時期や利活用方法は決まっていない。

・ 質問／意見：テニスコートの公費負担額は比較的小さく見えるが、それでも廃止を検討する理由は何か。

→ 回答：個別施設の収支だけでなく、市全体の施設配置や維持管理費、老朽化対策、利用ニーズの変化などを総合的に判断する必要がある。限られた財源の中で優先順位付けが求められている。

・ 質問／意見：なぜ廃止時期を令和 12 年度に設定したのか根拠を示してほしい。

→ 回答：テニスコートについては、現在利用している子どもたちが小学 5 年生以上だったことから、中学校を卒業するまでの 4 年間の活動継続を考慮した上で、令和 12 年度を目途に設定している。

・ 質問／意見：スカイトピア遊ランドは観光施設としてだけでなく、災害時の避難機能や地域の拠点機能も担っている。利用者数のみで評価すべきではない。

→ 回答：観光施設には多面的な機能があることは認識している。一方で頸北地域の観光施設は合併後も多くが残存しており、公の施設間での競合が起きている。加えて、人口減少や維持管理コストの増加を踏まえると、地域全体で施設の在り方を検討する必要がある。

・ 質問／意見：スカイトピア遊ランド周辺や尾神岳周辺では草刈りや道路

管理が十分ではなく、まずは適切な維持管理を行った上で施設の方向性を議論すべきである。

→ 回答：意見として受け止める。今後、施設運営や管理の在り方についても関係者と協議を進めたい。

【議題：源地域生涯学習センターの一部廃止について】

■ 説明

・ 事務局から、前回の地域協議会で答申した「源地域生涯学習センターの一部廃止について」に関する市長からの方針決定通知について報告があった。

・ 通知では、地域協議会に諮問した内容のとおり、源地域生涯学習センターの一部を廃止することとし、令和 8 年上越市議会 12 月会議に関係条例案を提出する方針が示された。

・ また、施設の一部廃止後については、適正な施設管理に努める旨が通知された。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：なし

【議題：「吉川コミュニティプラザの利用時間及び休館日の変更について」のほか 9 件の諮問に対する答申について】

■ 説明

・ 事務局から、前回の地域協議会で諮問のあった施設の利用時間及び休館日の変更に関する 10 件の答申案について説明があった。

・ 正副会長会議において、施設利用者への影響を考慮し、変更実施後の利用状況や休館日の運用について柔軟な対応を求める附帯意見を付す方向で整理したことが報告された。

・ 答申案について委員から意見を求め、附帯意見の内容を中心に協議を行った。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：施設利用の利便性だけでなく、利用者の生活の質や生きが

い、閉じこもり防止といった観点を附帯意見に盛り込むべきである。施設利用は地域住民の生活や人権にも関わるため、その視点を反映してほしい。

→ 回答：生涯学習の推進という考え方は重要であるが、生活や生きがいの部分まで十分に表現できない可能性がある。そのため、住民の目線への配慮や地域住民の福祉の充実といった視点を盛り込めるかについて、改めて検討したい。

・ 質問／意見：利用時間や休館日の変更により、地域住民の健康で文化的な生活が損なわれないよう配慮すべきである。

→ 回答：附帯意見の文言として、「地域の生涯学習の推進」や「地域住民の福祉の充実」を尊重し、利用者の利便性の低下を招かないよう求める表現を含めることについて検討する。

・ 質問／意見：附帯意見の表現は重要であり、会議の場で直ちに結論を出すのではなく、より適切な文言を検討してから答申すべきである。

→ 回答：委員からの意見を整理した上で正副会長と事務局が再度内容を調整し、委員へ改めて案を提示することとした。

・ 質問／意見：今回の施設利用条件の見直しは住民生活への影響が大きいため、市議会や市へ地域の意見が十分伝わる附帯意見とする必要がある。

→ 回答：附帯意見の内容については再整理し、委員全員の確認を経た上で答申することとした。

■ 協議結果

・ 附帯意見については、地域住民の福祉、生涯学習の推進、利用者の利便性への配慮などの観点を含めた文言となるよう再検討することとした。

・ 修正案は事務局及び正副会長で整理した後、委員へ示し、書面等により確認を得た上で最終的な答申とすることとした。

・ 附帯意見を付す施設については、同一の考え方に基づく文言で整理する

方向で確認した。

【議題：自主的審議事項について（尾神岳周辺の観光振興・道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化）】

■ 説明

・ 会長から、尾神岳周辺及び道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化に向けた取組状況について説明があった。

・ 尾神岳周辺について、林道や観光ルートの草刈りが十分に行われておらず、車両のすれ違いが困難な箇所や、観光客の安全性・快適性を損なう状況が見受けられるとの現状報告があった。

・ 道の駅周辺については、汚水処理施設隣接地の活用策として、住民アンケートでも要望の多かった芝生広場の整備や人が集まる空間づくりを進めたいとの考えが示された。

・ 併せて、水道インフラを活用したキャンプ場整備の可能性についても言及があり、大規模な投資を伴わない活用策の検討が必要との意見が示された。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：尾神岳周辺の道路管理について、草木の繁茂により道路状況が悪化している。観光地として適切な環境整備が必要ではないか。

→ 回答：事務局から、現地状況について確認を行う旨の回答があった。

・ 質問／意見：道の駅周辺の空きスペースについては、芝生化や交流スペースとして整備し、地域の活性化につなげるべきである。また、キャンプ場としての活用も検討できるのではないか。

→ 回答：会長から、地域アンケートでも芝生広場や人が集まる空間を求める意見が多かったことが説明され、活性化に向けた検討を進めたいとの考えが示された。

・ 質問／意見：道の駅活性化に関する検討会を早期に開催し、具体的な議論を進めてほしい。

→ 回答：事務局から、担当課及び関係部署で協議を進めており、11月中を目途に活性化検討会を開催できるよう準備を進めているとの報告があった。

■ 協議結果

・ 尾神岳周辺及び道の駅よしかわ杜氏の郷の活性化について、地域資源を活用した取組を引き続き検討していくことを確認した。

・ 事務局は、11月中を目途に、道の駅活性化検討会の開催に向けて調整を進めることとした。

・ 委員からの現地管理に関する意見については、今後の検討材料として関係部署へ共有することとした。

【議題：視察研修について】

■ 説明

・ 事務局から、自主的審議事項である「道の駅の活性化」及び「若者の移住・定住につながる魅力的な子育て支援」の検討に資するために実施する県内先進地の視察研修について説明があった。

・ 視察候補地として、複合型の道の駅である道の駅国上、関係人口創出事業に取り組む燕市、移住・定住施策を推進する三条市が提案された。

・ 視察は委員及び事務局で実施し、午前に燕市又は三条市の先進事例を視察、午後に道の駅視察を行う行程を想定していることが説明された。

・ 日程の候補として11月16日、18日、19日が提示され、候補自治体との調整は今後実施することが説明された。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：地域協議会委員以外の関係団体や地域活動団体の参加を認めることは可能か。

→ 回答：本研修は地域協議会委員の研修として予算措置がされており、これまで委員以外が参加した事例もないことから、委

員及び事務局による実施を基本としたい。

・ 質問／意見：視察候補地については、どの自治体を優先して調整する考えか。

→ 回答：燕市及び三条市の両市を候補としているが、時間的な制約から視察先は 1 か所となる見込みであり、地域協議会で優先順位を決定してほしい。

・ 質問／意見：日程について、参加しやすい日を選定したい。

→ 回答：出席予定者の都合を確認した結果、11 月 16 日を第一候補として調整することとした。

■ 協議結果

・ 視察研修は 11 月 16 日に実施する方向で調整を進めることとした。

・ 視察先自治体については、三条市を第一優先、燕市を第二優先として事務局が調整を行うこととした。

・ 行程は、先進事例の視察と道の駅国上の視察を基本として検討を進めることとした。

・ 事務局は視察先との調整を行い、参加者及び行程の詳細を改めて委員へ周知することとした。

【議題：保護者アンケートについて】

■ 説明

・ 自主的審議事項である「吉川区における若者移住につながる魅力的な子育て支援」に関連し、保護者アンケート案について協議を行った。

・ 事務局から、アンケート案は正副会長と協議しながら作成したものであり、家族構成や子育て環境を把握するための設問を設けていることが説明された。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：家族構成を尋ねる設問の「あなたと子」という表現に違和感がある。ひとり親家庭を連想させる可能性もあり、表現を見直した方がよいのではないか。

→ 回答：事務局から、多様な家族形態への配慮から「あなた」という表現を使用したが、受け取り方への配慮も必要であり、別の表現への修正を検討したいとの説明があった。

・ 質問／意見：家族構成を把握する設問自体は必要であり、核家族か三世代同居かによって回答傾向が異なる可能性があるため削除すべきではない。

→ 回答：会長及び委員間で協議を行い、家族構成に関する設問は残す方向で整理した。

・ 質問／意見：「あなた」という表現では記入者が誰を指すのか分かりにくい。「記入する人」や「ご記入される人」などの表現に変更した方がよい。

：家族構成については、「本人」「配偶者」「子」「祖父母」などにチェックする方式や、「その他」を設ける方法も考えられる。

：「あなた」という表現は、受け取る人によっては唐突な印象を与える可能性があるため、配慮した表現に改めるべきである。

：家族構成については、二世代世帯・三世代世帯などの区分を設ける方法も考えられる。

→ 回答：会長から、設問中の「あなた」という表現は削除し、世帯構成が分かる形へ修正する方向で整理したいとの提案があった。

■ 協議結果

・ アンケート中の「あなた」及び「あなたの」といった表現は削除し、回答者に分かりやすい表現に修正することとした。

・ 家族構成に関する設問は維持することとした。

・ 修正版アンケートは、保護者代表等へ事前に確認を行った上で配布することとした。

・ 中学校保護者を含め、できるだけ多くの関係者から意見を聴取しながらアンケートを進めることを確認した。

【議題：その他（公民館施設等の維持管理などについて)】

■ 説明

・ 会長が、吉川多目的集会場の老朽化・管理不備（壁紙・カーテン等）を指摘し、地域活動の拠点としての機能維持を強く要望した。特に地区の公民館統廃合後の残存施設の劣化に対する不満が強い。

■ 質疑応答

・ 質問／意見：公民館やコミュニティ施設の老朽化が著しく、壁紙やカーテンなどの劣化も目立つ。統廃合を進めるのであれば残る施設の維持管理に努めるべきである。

→ 回答：施設の重要性は認識している。限られた予算の中で優先順位を整理しながら、修繕可能な部分から対応を検討していく。

・ 質問／意見：吉川コミュニティプラザの空調設備が故障しているが、復旧の見通しを示してほしい。

→ 回答：冷温水発生機 3 台のうち 2 台が故障しており、残る 1 台も老朽化している。改修方法や予算確保、資材調達等を検討している段階であり、現時点では復旧時期は未定である。

・ 質問／意見：空調が使用できない場合、今後の会議運営や施設利用に支障が出るため対応をお願いしたい。

→ 回答：利用者と相談しながら、今後の対応を検討していきたい。

【議題：その他（次回地域協議会日程について)】

■ 説明

・ 次回の地域協議会は、11 月 19 日に開催する方向で調整することを確認した。

8 問合せ先

吉川区総合事務所　総務・地域振興グループ

℡：025-548-2311（内線 213）

E-mail：yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

9　その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。